

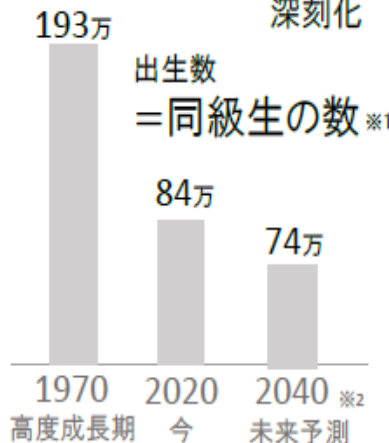
# 新たな社会において求められる教育・人材育成

教育・人材育成システムの転換の方向性

これまで

工業化社会 大量生産・大量消費  
 巨大化する都市環境 指数関数的な人口増  
 経済成長  
 新卒一括採用・年功序列

人口減少・少子化の深刻化



今、これから

新たな価値創造 イノベーション  
 SDGs Society 5.0  
 一人ひとりの多様な幸せ well-being DX  
 地球規模課題 多様性 安全・安心  
 AI 人材の流動化 総合知

同質性・均質性  
 一律一様の教育・人材育成

一斉授業 形式的平等主義

みんな一緒に みんな同じペースで みんな同じことを



測りやすい力  
 重視

限られた時間で  
 自らの記憶や思考  
 だけを頼りに  
 素早く正確に解く  
 力を評価

自前主義

学校種、学校、  
 学年、学級、教  
 科などの縦割り  
 構造に基づく  
 教育の提供

社会的・文化的  
 バイアス

学びや進路の  
 選択を制約する  
 バイアスの存在  
 (女子の文理選択、  
 直線的な進学だけ  
 が選択肢)

世界トップレベルの  
 教育システム

~~同調圧力  
 正解主義~~

価値創造やイノベーション創出の  
 最大の敵

一人一台端末  
 オンライン環境の整備  
 コロナで進んだデジタル化



多様性を重視した教育・人材育成

個別最適な学び

協働的な学び

それぞれのペースで自分の学びを 対話を通じた「納得解」の形成



探究力重視

社会とシームレスな  
 協働体制

子供の主体性

自ら学びを調整し、  
 社会に生きる学び  
 や試行錯誤しながら、  
 自ら課題を設定  
 し課題に立ち向かう  
 「探究力」を評価

社会や専門的な  
 力を入れて、  
 一人ひとりの特性  
 を重視して、その  
 力をさらに伸ばす  
 体制

大人の成功体験  
 や経験にとらわれ  
 ず、子供の好奇心  
 や個人の興味・関  
 心に応じた学びや  
 進路選択の実現

# 新たな社会において求められる教育・人材育成

## 子供の特性を重視した学びの「時間」と「空間」の多様化

2017年改訂により資質・能力重視の教育課程へと転換

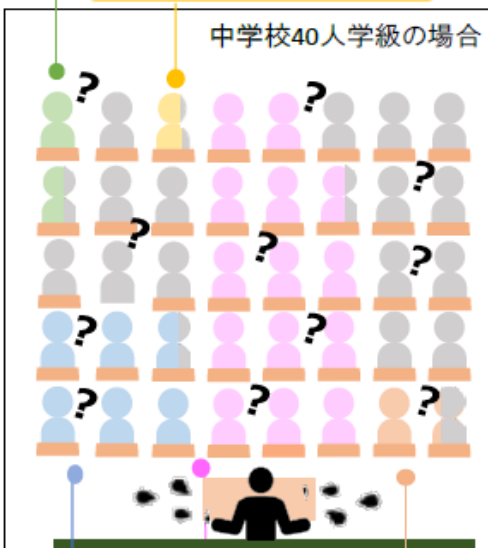
多様な子供たちに対してICTも活用し  
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

子供たちが多様化する中で  
紙ベースの一斉授業は限界

発達障害の可能性のある子供

特異な才能のある子供

中学校40人学級の場合



**教師による一斉授業**  
一定のレベルを想定した  
質の高い授業展開

**主体**

**子供主体の学び**

子供の理解度や認知の特性に  
応じて自分のペースで学ぶ

**学校種  
学年**

**学年に関係なく**

学年・学校種を超える学び  
や学年を越った学びも

**空間**

**教室以外の選択肢**

教室になじめない子供が  
教室以外の空間でも

**教科**

**教科等横断・探究・STEAM**

教科の本質の学びとともに、  
教科の枠組みを超えた  
実社会に生きる学びを

**教師**

**Coaching**

子供の主体的な学びの  
伴走者へ

**教職員  
組織**

**多様な人材・協働体制**

多様な教職員集団  
理数、発達障害、ICT、  
キャリアなど専門性を  
活かした協働体制

**同一学年で**  
同一学年で構成され  
該当学年の学び

**同じ教室で**  
集団行動が  
基本となる教室で

**教科ごと**  
教科担任制のもと  
教科ごとの指導

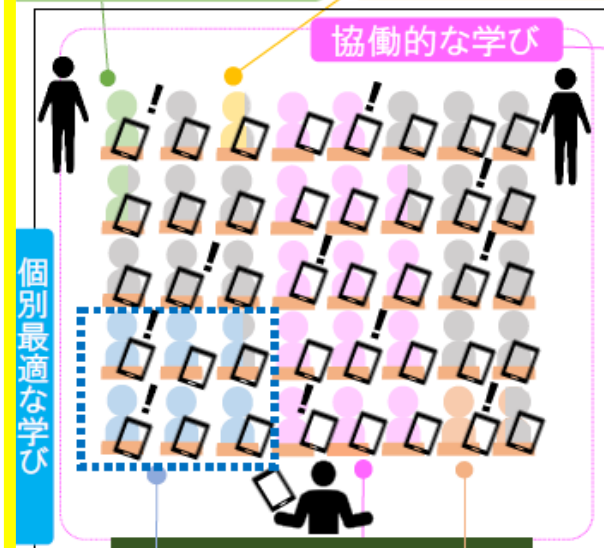
**Teaching**  
指導書のとおり  
計画を立て教える授業

**同質・均質な集団**  
教員養成学部等を卒業し、  
定年まで勤めることが基本  
万能を求められる教師

発達障害等  
自分の特性を理解し、ICTを  
活用しながら、自分に合った  
学び方で進めることができる

特異な才能のある子供  
特異な才能のある分野を  
伸ばすため、大学や研究  
機関で学ぶことができる

**協働的な学び**



個別最適な学び

**不登校・不登校傾向**

学校の中に通常の学級から離れて  
学習ができる学びの場、教育支援セ  
ンター、不登校特例校、夜間中学、  
フリースクールをはじめ、NPOや民間  
等の力も活かしつつ、従来の学び方  
とは別の形で学ぶことができる

**日本語を家で  
あまり話さない子供**

特別なカリキュラム組み、  
ICTも活用しながら、日本  
語習得と同時に学びを  
進めることができる

家にある本の冊数が少なく  
学力の低い傾向が見られる子供

タブレット等の活用により自分のペースで着実に  
自分の理解に応じて学びを進めることができる

家庭や経済力、認知の特性や興味などが異なる  
子供たちが「協働」して学ぶ機会の確保が公教育の肝  
※協働的な学びの重要ツールが情報端末であり、そのためには情報モデルが重要

不登校  
不登校傾向

日本語を家で  
あまり話さない子供

家にある本の冊数が少なく  
学力の低い傾向が見られる子供  
※語彙や読解力の低下は重要な教育課題

※子供の数の考え方・定義等については、スライド10の  
出典と同様。

※限られたリソースの中、個別最適な学び・協働的な学  
びを追求している学校や教師も沢山いるが、現リソ  
ースでは一般的に限界があることを想定して図式化

＜ 重点的に進める4つの教育施策の方針 ＞

未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進

- 子供主体の授業への教育観の転換
- 成長の基盤となる資質・能力の育成
- ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材の育成

教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- 教育DXの推進
- デジタル社会を担う人材の育成

主体的に学び 他者と協働し  
豊かな未来を拓く やまなしの人作り



誰もが可能性を伸ばせる教育の推進

- きめ細かな質の高い少人数教育の推進
- 多様な教育ニーズへの対応
- 人生100年時代を見据えた生涯学習の充実
- 学校・家庭・地域の連携や協働による地域教育力向上
- 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

学校を取り巻く教育環境の整備

- 子供と向き合う時間の確保に向けた取り組みの推進
- 質の高い教育のための環境整備

～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～